

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	赤塚支援教室			
○保護者評価実施期間	R8年2月2日		～	R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数)	19人
○従業者評価実施期間	R8年2月16日		～	R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月9日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行う事が出来ている。	送迎時や面談の機会を設け、悩みに対して代替案や保護者様がどのようにお子様へ伝える・見る方が良いのかなどのアドバイスを実施できている。	より明確な代替案や職員の支援の質を高めて、特性に合わせた支援方法を気を付けるポイントなどを伝えていけるように研修や個別に勉強を行っていく。
2	保護者様、利用者様の満足度	利用者様が自宅や学校以外に安心して過ごせる居場所となるように何でも話せる関係性を構築して行く。また、保護者様の悩みに向き合い、改善へ努めている。	利用者様や保護者様にご満足いただける様、常に研修や個別に勉強を行って、支援の質を高めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数に関する事。・人員の安定や利用者様に対して配置数が足りていない事があり、職員間でもお子さんの行事等でお休みも被ってしまう事がある。そのことから日によって配置数が足りない場合がある。	人員の安定や利用者様に対して配置数が足りていない事があり、職員間でもお子さんの行事等でお休みも被ってしまう事がある。そのことから日によって配置数が足りない場合がある。	求人・紹介等を通して、人員確保に努めていく。また、職員数を安定させ継続的な運営体制を構築する為に新規職員の育成体制の整備やフォーマットを作成し、誰もが把握でき、働きやすい環境を整えていく。
2	こどもの活動スペース・バリアフリー化に関する事。	3事業所なので、利用者様・職員の人数が多く、部屋が狭くなってしまう。	内装を改装してバリアフリー化することは難しいが、部屋数は多いので、人員を確保し、部屋を分けた支援を実施できるように体制作りを行う。
3			